

# 令和4年度「地理B」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
3	普通科・理数科・美術科	地理歴史	地理B	4	選択
<b>教科書</b>	新編詳解地理B改訂版 地B305(二宮書店)、新詳高等地図(帝国書院)				
<b>副教材</b>	データブック オブ・ザ・ワールド(二宮書店) 新地理要点ノート(啓隆社) 新編地理資料(とうほう) ニューコンパスノート(とうほう)				

学習の目的	
1	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察する。
2	現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培う。
3	国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

学習の目標	
<b>I</b> 知識・技能	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。
<b>C</b> 思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、結果を適切に表現しその過程や結果を適切に表現している。
<b>E</b> 学びに向かう力・人間性等	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付ける。

<b>つきたい力</b>	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取
--------------	----------------------------------------

評価方法	I	C	E
◇ 定期考査は1学期期末、2学期中間・期末、3学期学年末の4回実施する。定期考査は成績の8割分。	○	○	○
◇ 各学期ごとに授業ノート等を提出する。	○	○	
◇ 課題への取組状況、提出状況。		○	○
◇ 長期休業中にレポート課題を課す。		○	○

履修上の注意および学習のアドバイス等	
◇	単に用語を暗記するだけでなく、具体的な例(場所)を地図帳を使って確認するようにしてください。
◇	一つ一つの事象は、空間で起きており、その周辺には景観があります。景観をイメージしましょう。
◇	2年次に学習した自然環境を土台として農業、工業、都市は成り立っています。2年次の学習と関連づけて考えるようにしてください。

## 年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考查	思考を深める問い (C・E)	I: 知識理解	C: 思考判断表現	E: 学びに向かう力・人間性
第1学期	4	第2章第1節 農林水産業	世界の農業・水産業・林業を取り上げ、それぞれの特色や分布、形成要因などについて考察し、基礎的・基本的知識を習得する。世界や日本の食料問題・課題を世界的視野に留意して概観し、形成要因を考察する。	実力考查	ヴァーチャルウォーターの観点から、日本は国内総水資源使用量の3分の2を世界に頼っている。日本としてどのような行動を取る必要があるか。	○	○	○
	5	第2章第2節 資源・エネルギー	世界の資源・エネルギーを取り上げ、それぞれの特色や分布、形成要因などについて考察し、基礎的・基本的知識を習得する。世界や日本の資源・エネルギー問題を世界的視野に留意して概観し、形成要因を考察する。					
	6	第2章第3節 工業	世界の工業の成り立ち・立地を取り上げ、工業地域の形成と変容に関して考察し、基礎的・基本的知識を習得する。グローバル化する中で世界と日本の工業に関して世界的視野に留意して、それらの動向・形成要因について考察する。	期末考查	オーストラリアの鋳工業について、日本と比較しながら説明せよ。	○	○	○
	7	第3章第1節 人口	世界の人口分布、人口増加・人口構成に関する動向を取り上げて、形成要因に関して考察し、基礎的・基本的知識を習得する。世界の人口増加地域と減少地域の人口問題を比較しながら、日本の人口問題とも関連させて考察する。		①UAEの人口ピラミッドの特徴について説明せよ。 ②2005年以降の訪日外国人数の変化について、日本国内、国外、移動手段に関わる理由に言及し説明せよ。	○	○	○
第2学期	9	第3章第2節 村落・都市	様々な規模の集落があることを理解し、村落の立地と形態、都市の発達と変容に関して考察し、村落・都市に関する基礎的・基本的知識を習得する。世界と日本の居住・都市問題の地域性や形成要因について世界的視野に留意して考察する。地形図から村落形態を読み取る地理的技能を習得する。	実力考查	①路村の地割りの特徴、成立経緯、配置の理由について説明せよ。 ②ロンドンのジェントリフィケーションの進行に伴う、中心部・周辺部・首都圏全体の労働人口の変化の特徴を説明せよ。	○	○	○
	10	第1節 衣食住 第2節 言語と宗教 第3節 民族と国家	世界の衣食住、言語と宗教を取り上げ、それらの分布と特色を理解し、地域性との関連を考察し、基礎的・基本的知識を習得する。民族と国家との関連を理解し、基礎的・基本的知識を習得する。世界的にみた民族と国家との多様性や日本の領土問題について考察し、国家群や国連の役割を理解する。	中間考查	ロシアによるウクライナ侵攻の背景を考察せよ。	○	○	○
	11	第Ⅲ編 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域	現代世界が自然、政治、経済、文化などの指標によって様々な地域に区分できることを理解し、多様な区分から現代世界の特色を理解する。	期末考查				
	12	第Ⅲ編 現代世界の地誌的考察 第3章 現代世界と日本	今までの学習を基にして、日本の自然、産業構造、人口構成と居住問題、伝統文化保全とグローバル化に関して、日本がかかえる地理的な課題を生徒自らに発見し、その課題を多面的・多角的に考察、探究する。					
第3学期	1							
	2							
	3							

※行事等で変更になる場合があります。